

## 暴風被害の処理続く

前号でお知らせしたように、豪雨の被害で森のあちこちに倒木がありその片付けが続いています。先日19日(土)には、これまで度々応援頂いた高橋さんに来てもらい、倒木の伐採をしました。若さでてきぱきと仕事が進みましたが、何分にも大木が多く3本ほど切るのに午前中いっぱいかかりました。この日一番大きい木は、80年以上経つノグルミノ大木で、根元の周りが2m以上のものでした。病院側には、桜やキリの倒木もあり当分これらの処理が続きます。



倒木の伐採作業(1)

## 県の助成金決定

島根県が行っている「自然公園の魅力アップ事業」に応募していましたが、この度、これが認められ492,700円の助成を受けることになりました。事業の内容は案内看板2か所の設置、キンランの保存・育成、落葉の活用等です。今後、この事業に取り組むこととなります。



同(2)

## 入口案内標識設置

これまで建っていた標柱が腐食したため、新しく建て替えました。森の間伐材を利用して柱をつくり、入口階段の上と尾根に出た所の2か所に設置しました。観察路の距離を表す標柱です。



← 標柱設置作業

## 田和山の樹木 第23回 エノキ



エノキは古くから人の生活の近くにあり、社寺の境内、公園、山地にきわめて普通に見ることができる樹木です。高木になり一本でも枝を大きく広げて、夏に木陰をつくるために、一里塚によく植えられ、その名残の木を旧国道で見ることがありました。エノキを漢字では榎とかくのは、街道の一里塚の大樹が木陰を作るので、夏の木の意味でつけられたと言われています。

田和山には林の中に2本だけ大きくなっていますが、周りの樹木との競争で枝を広げてはいません。

エノキの実(エノミ)と呼ばれエノミ鉄砲の弾として遊んだ記憶を持っておられる人もあるのでは。

エノキの葉は、オオムラサキ、ゴマダラチョウ、タマムシなど、多くの昆虫の餌となっています。また実は多くの野鳥の餌にもなっていますので、庭の思わぬところで育っていることがあります。

材としては農機具の柄として使われていましたが、今はあまり使うこともありませんが、ヒラタケの原木栽培に最も適しています。



○ 今後の活動予定 (10月からは、第3週を除き従来通り午後の作業となります)

10月8日(金) 13:30～、16日(土) 9:00～、22日(金) 13:30～、29日(金) 13:30～

11月5日(金) 13:30～、12日(金) 13:30～、20日(土) 9:00～、26日(金) 13:30～